

# 最上小国川がきれいになりました！

～最上小国川集中クリーンアップ大作戦、実施！～

5月8日、最上小国川の最上町赤倉地区から舟形町富長橋付近までのおよそ40kmの区間で、今年も「最上小国川集中クリーンアップ大作戦」を行いました！

昨今のクマ被害を踏まえ、各グループにクマよけスプレー・クマ鈴を配布するなど万全の態勢で臨んだ今回は、小国川漁業協同組合の皆さま、山形県建設業協会最上支部の会員企業の皆さま、最上町職員・舟形町職員の皆さま合わせて約90名もの方々にご協力いただき、昨年の半分程度となる約860キロものゴミを回収することができました！

回収するゴミの量が少なくなってきたのは、これまでの皆さまの頑張りの成果だと思います。ご協力いただいた作業員の皆さま、本当にありがとうございました！

最上小国川の景観や河川環境を守っていくために最も大事なことは「ゴミを捨てない」ことです。「美しい最上小国川」を未来に残していくため、皆さまと一緒に協力ください！



↑ 出発式の様子



清掃作業の様子



作業終了後記念撮影

＜ご協力いただいた山形県建設業協会最上支部の会員企業の皆さま（敬称略、五十音順）＞

秋保建設(株) 伊藤組(株) 大沼建設(株) オオバ(株) 大場組(株) 小川建設(株) カキザキ(株) 柿崎建設工業(株) 柿崎工務所(株) 葛藤(株) 神室工業(株) 川田建設(株) 北日本特殊イサベラ建設(株) 北山建設(株) 寿建設(株) 小松建設(株) 澤内建設(株) 庄司工業(株) 白岩土木建築(株) 新庄工務所(株) 新庄砕石工業所(株) 新庄・鈴木・柴田組(株) 新庄土木(株) 東舗工業(株) (有)中島建設 永井建設(株) 沼田建設(株) (有)葉山工業 星川建設(株) 升川建設(株) 新庄営業所(株) 丸保大沼組(株) 丸充建設(株) (株)最上振興 矢口工業(株) (株)八鍬建設 山田建設(株) ご協力いただきありがとうございました！

## 最上小国川フォトコンテスト

作品募集中！

今年も、最上小国川の魅力（最上小国川の流域文化、風景、体験や思い出...などなど）を撮影した写真を＜11月30日(月)＞まで大募集しています！

- ✓応募資格・応募数制限なし！
- ✓スマホで撮った写真でもOK！
- ✓入賞者には豪華賞品あり！

今回から新たにSNS（InstagramまたはX）からの応募も受け付けています！

簡単にご応募できますので、ぜひお気軽にご応募ください！

応募方法や入賞特典、過去の入賞作品など、詳しい情報はこちらをチェック！→→→→



来たれ！釣り好き高校生！！

## 第7回最上小国川鮎釣り甲子園大会開幕します！

今年も全国の高校生を対象にした釣りの祭典「最上小国川鮎釣り甲子園大会」を最上小国川河川公園「アベッス」

（最上町満澤）で開催します！

参加費は無料で、上位入賞者には豪華賞品をご用意しています（参加者全員に参加賞も！）。初心者の方も大歓迎！鮎釣りの聖地「最上小国川」で、楽しい夏の思い出を作りましょう！

申込方法や当日の行程など、

- 開催日：8月2日(日) 詳しい情報はこちらをチェック！
- 定員：40名
- 申込期限：7月13日(月)
- 参加費：無料
- JR最上駅からの無料送迎あり！



【発行】最上小国川清流未来振興機構事務局（山形県最上総合支庁総務課連携支援室内）

☎0233-29-1238 @ogunigawa\_kiko

🌐www.seiryu-mogamiogunigawa.jp/

〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上2034



フォロー・いいね  
よろしくお願いします！

最上小国川清流未来振興機構

## Mogami-Oguni River News

# 最上小国川清流未来ニュース

第38号  
2026.6.26

最上小国川清流未来振興機構は、「最上小国川清流未来振興計画」に基づいて様々な取り組みを行っています。最上小国川清流未来ニュースでは、こうした取り組みの動きについてご紹介します。

今号から、より多くの方に読んでいただけるようポップなデザインにリニューアル！ぜひご覧ください。

## アユ釣り7月1日解禁！

小国川漁業協同組合では、5月29日から6月19日にかけて、舟形町鮎中間育成施設で体長8cm程度までに育てたアユの稚魚約4tを最上小国川に放流し、川での生育を図っています。

また、同組合では、6月2日に最上町立大堀小学校で、6月9日に舟形町立舟形小学校でそれぞれアユの放流体験学習を開催し、計41名の小学生（大堀小3年生21名、舟形小2年生20名）にアユの放流を体験してもらいました。この取り組みは、特産のアユと最上小国川への理解を子どもたちに深めてもらおうと、毎年開催されているものです。

現在、順調にアユが川を遡上しています。今年の最上小国川でのアユ釣りの解禁日は7月1日です。皆さまのお越しをお待ちしております。



## 第2次最上小国川清流未来振興計画を策定しました！

4月27日、最上小国川清流未来振興機構（本部長：悪七幸喜氏）の代表者会議を舟形町中央公民館で開催し、昨年度をもって計画期間の満了を迎えた「最上小国川清流未来振興計画」の次期（第2次）計画について、内容が承認されました。

計画期間は令和8年度から令和17年度までの10年間で、これまでの計画と同様、以下ア～オの「目指すべき地域の将来像」に紐づく基本目標を設定したうえで、それぞれの目標達成に向けた各種施策をとりまとめました。

今後は、本計画に基づき、関係者の皆さまと連携しながら最上小国川流域の振興により一層力を入れて取り組んでまいります。

### 目指すべき地域の将来像

ア 治水や治山で自然と共存する地域



イ 清流を守り、育て、活かす地域



ウ 川を知り、川に親しむ地域



エ 地元ブランドで活性化する地域



オ おもてなしの心で癒す地域



代表者会議の様子

第2次最上小国川清流未来振興計画



第2次振興計画(表紙)

次ページに、本計画の基本目標、地域の将来像、実施する施策等をまとめた「最上小国川清流未来振興図」を掲載しておりますのでご覧ください。

また、計画全文についても、今後機構ホームページに掲載予定です。

最上小国川清流未来振興機構

# 最上小国川 清流未来 振興図

- 地域の将来像
- 対象地域
- 山形県最上町・舟形町
- 計画期間
- 令和8年度～令和17年度
- 推進組織
- 最上小国川清流未来振興機構

**エ：地元ブランドで  
活性化**

目標：地域ブランド品目  
となっているアスパラガスの  
販売額5%増（令和7年度  
比）を目指す。

- アユ加工品等の開発支援
- 地域ブランド化の推進
- 木質バイオマスの利活用の推進



最上地域産アスパラガス



第10回最上小国川写真コンテスト  
最優秀賞「川遊び大好き！」

いにしえ  
「古から清流最上小国川流域の自然と生活が築いてきた魅力や価値を継承し、地域資源に新たな魅力と価値を加え、新しい地域の文化を創造する。」

## 基本目標

## 地域づくりの視点

安全で美しい  
地域基盤づくり

生活を向上させる  
ものづくり

交流する  
場所づくり

**ア**  
治水や治山で  
自然と共存

**イ**  
清流を  
守り・育て・  
活かす

**ウ**  
川を知り  
川に親しむ

**エ**  
地元  
ブランドで  
活性化

**オ**  
おもてなし  
の心で癒す



ここ



国宝「縄文の女神」

高度な精神文化が  
芽生えていた証

**オ：おもてなしの  
心で癒す**

目標：地域の観光者数  
120万人を目指す。

- 1 物販及び情報発信施設新設の検討
- 2 流水型ダム周辺整備
- 3 遊歩道の整備
- 4 歴史的な赤倉温泉街の継承・発展
- 5 温泉地等の魅力向上の推進
- 6 「道の駅もがみ」でのイベント開催

- 7 親水空間の創出（向町）
- 8 親水空間の創出（舟形）
- 川床の茶屋設置方策の検討
- イベントの連携検討



道の駅もがみ「あつえ」

**イ：清流を守り・  
育て・活かす**

目標：水産資源の維持増大  
（アユの放流量 4,000kg/  
年、アユの自然産卵場所の設  
置1箇所/年）を図る。



※アユは最上小国川  
全川で放流

- アユ等の放流
- アユの自然産卵場所の設置
- 1 アユ放流事業への支援
- 2 サケふ化施設の遊休期間を活用  
したアユ種苗生産の増大
- 3 環境モニタリング
- 4 河川工事における環境対策
- 5 計画的な保安林の指定
- 6 合併浄化槽の整備
- 農業等の低減
- 間伐材の搬出・主伐後の再造林
- 森林整備の促進



最上小国川流水型ダム

先人から引き継ぎ、未来に伝える  
**清流文化 最上小国川**

**ウ：川を知り  
川に親しむ**

目標：高校生以下の最上小  
国川のイベント参加者数  
年間5,000人を目指す。

- 1 アユ釣り大会の開催
- 2 川魚のつかみ取り大会や放流事業の開催
- 3 イwana、サクラマス等の産卵場造成
- 4 遊歩道の販売促進
- 5 ふながた若鮎まつりにおけるアユ利用促進
- 6 最上小国川鮎釣り甲子園大会の開催
- 釣り場のアクセス改善

## 広報

- 最上町と舟形町の町報による機構の情報発信
- 機構の情報誌やホームページを活用した情報発信



最上小国川鮎釣り甲子園大会

**ア：治水や治山で  
自然と共存**

目標：50年に1度の  
洪水を安全に流せるよ  
うにする。

- 1 最上小国川流水型ダム流木捕捉工整備
- 2 河川整備（大堀地内）
- 3 河川情報の提供（ライブカメラ配信）
- 河川の適切な維持管理
- 防災意識向上の推進
- 水位等の河川情報の提供
- 克雪対策の推進